

2005年5月16日

住友化学、ダウから高分子有機EL用材料事業を買収

住友化学は、米国ダウ・ケミカル社から高分子有機EL用材料事業を買収いたしました。当社はダウ社の高分子有機EL用材料「LUMATION」に関する知的財産および技術を全て承継いたします。

当社は、情報電子化学を重点分野の一つと位置付け、中でも表示材料分野に注力していますが、今回の買収はこの事業戦略の一環であり、これにより同事業を一層、強化することになります。

当社は、長年蓄積してきた表示材料技術および導電性ポリマー技術を活かして、高分子有機EL用材料の開発を行っており、青色材料について半減期1万時間を達成する一方、現在、英国ケンブリッジ・ディスプレイ・テクノロジー社（CDT）との協力の下、 dendritic などの高効率新規材料の開発も進めております。今回の買収で、高分子有機EL用材料の品揃えを拡大すると共に、当社の独自技術にダウ・ケミカルの技術を融合することにより、新規材料開発を促進いたします。

フラットパネルディスプレイの中で有機ELは、バックライトを必要とせず、広視野角かつ高コントラストな画像表示が可能であり、現在広く使われているLCDに比べて残像のない高速動画表示が可能であるなど、数多くの優位性があります。中でも高分子有機ELは、インクジェットプリンターを用いた印刷による画素形成が可能であり、真空蒸着による画素形成工程を必要とする低分子系有機ELに比べ、より効率的なディスプレイ製造が可能です。

高分子有機ELの用途としては、携帯電話や携帯情報端末（PDA）などの携帯機器向け中小型ディスプレイなどが挙げられます。また、将来的には、大型テレビやモニター等の大型ディスプレイ用途への展開も可能です。当社としては、ディスプレイだけでなく、さらに照明などにも用途を拡大してまいりたいと考えております。

以上